

(様式第4号)

## 第2回 武石地域協議会 会議概要

1 審議会名	武石地域協議会
2 日時	平成30年5月16日 午後7時00分から午後8時45分まで
3 会場	武石地域自治センター2階 第1会議室
4 出席者	池内俊郎委員、浦部秀幸委員、大草ひろみ委員、金井修一委員、金子るり子委員、木下嘉章委員、小池文男委員、小山ひとみ委員、櫻井照子委員、桜井保子委員、鈴木三千夫委員、高橋みち子委員、滝沢友子委員、馬場美穂子委員、廣田百合子委員、宮島友和委員、山岸誠委員、山口英宏委員 <b>【欠席委員2名】</b>
5 市側出席者	石井地域自治センター長、金子地域振興課長、下村市民サービス課長、藤極丸子・武石上下水道課長、津久井武石教育事務所所長補佐 金井都市計画課調査計画担当係長、矢野主査、依田主事 平田建築指導課指導係長、若林主査 坂部地域政策担当係長、依田地域担当、掛川主査
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成30年5月25日

### 協議事項等

- 1 開会（大草副会長）
- 2 あいさつ（池内会長）
- 3 報告事項

(1) 上田市空家等対策計画（素案）について

・ 建築指導課から、上田市空家等対策計画（素案）について説明

**【質疑等】**

(委員) 実態調査の方法は、所有者へのアンケートによるものか、それとも実地調査によるものか。

(建築指導課) 水道が休止・廃栓未使用宅約 7,000 軒について、民間へ実地調査を依頼し、空き家に A～C のランクをつけてもらったのが 3,500 軒。そのうち所有者が判明したものに対してアンケートを送付した。アンケートの回収率は 56.5%。

(委員) 総務省による統計調査の住宅総戸数より、市の実態調査による建物棟数の方が多い。通常、棟数よりも戸数よりも方が多いと思うが。

(事務局) 総務省による統計調査は、全戸ではなく抽出による調査のため、戸数が少ない。

(委員) 上田市は、別荘について今度も調査をしないのか。上本入にある別荘地は空き家が多く、それらは景観、防犯上よくない。今後問題になるのではないか。別荘地も計画に含めた方がよいのではないか。また、空家対策への支援について詳しい説明をお願いしたい。

(建築指導課) 別荘については、現在のところ対象外になっているが、今後検討する時期も来るかと思う。支援については、検討段階でまだ詳細は決まっていない。危険部分の改修等に国からの交付金を使えばと考えている。

(委員) 現在は、解体費用が高額で、簡単に解体はできない。

(建築指導課) 建物を解体し売却することで、解体費用がまかなえるようであればよいが、なかなか難しい。空家バンクも紹介しながら、なるべく空家を減らしていきたいと考えている。

(委員) 以前、自治会で空き家調査をし、市へ書類を提供している。これらのデータやノウハウを自治会に提供してもらえるのか。

(建築指導課) 個人情報になるため、市で調査したものはお出しできない。市が自治会にお願いし調査していただいたものは成果品として持っており、それをお返しするという形であれば、問題はないかと考えている。

(委員) その場合、用途は限定されるか。

(建築指導課) 自治会で調査していただいたものなので、自治会の責任においてやっていただければ、問題はないと考えている。

今回の計画は、自治センター窓口の他、市ホームページにも掲載し、パブリックコメントを実施しているので、ご覧いただきたい。

## (2) 上田市立地適正化計画(案)～基本的な方針等～について

・都市計画課から、上田市立地適正化計画(案)について説明

### 【質疑等】

(委員) 先ほどの空き家の話ともつながるが、問題は、空き家の増加、人口の減少だけでなく、荒廃農地が増加していく。農地の問題も含めた方がよいのではないか。住宅を増やしたくても農地法でできない等、農地法の見直しも必要ではないか。

(都市計画課) 担い手不足の話だと思うが、この計画は、市の全ての課に関係する仕事だと考えている。住民の皆様を感じていただきたいのは、人口が減少するという現実。しかし、そこに住み続けるためには、何かしていかなければいけないということ。

(委員) 荒廃農地にソーラーパネルを設置し、ここに済めば電気代を半額にするとか、そういったことを考えていかなければいけないのではないか。

(都市計画課) 合併後、人口がどんどん減っているが、地域に行政機能を残すために、武石地域には地域自治センターを残しており、今後も維持していかなければいけない。立地適正化計画は、まず枠を決めて、その枠の中で集中して何かをやろうという計画。地域をどう守っていくかを、地域で考えていく必要がある。

(会長) 武石地域の現状についての資料があるが、具体的な施策をどのように展開していくのか、これから出てくるのか。

(都市計画課) 今回決めれば、それが続くのではなく、今後ずっと出てくると考えている。市として、拠点を守ることが優先されて、いろいろな事業が考えられる。

(会長) 今年8月には、どの程度具体的な地域ごとの内容が示されるのか。

(都市計画課) 地域の現状、課題、方向性は示したいと考えている。人口減少対策は、武石地域総合センターの建設も含まれると考えている。その他、例えば、住民の集いの場づくりや市営住宅の改修といった考えもある。そういった何かをやろうと考えたときに、拠点を中心にやったらどうかというもの。立地適正計画とは、その区域を決めることがいちばんの作業になる。具体的な施策は、今後も考えていかなければいけない。

(会長) これらの計画について、地域協議会として意見等を出したいとなった場合、パブリックコメントの締切りを過ぎてもかまわないか。次回は6月20日の予定だが、受け付けていただけるか。

(建築指導課) 6月中であればよいが、いつまでにまとめてられるか、ご連絡いただきたい。

## (3) 平成30年度武石地域の主な施策と基金活用状況について

・各担当課長から、平成30年度武石地域の主な施策と基金活用状況について説明

【質疑等】

(委員) 平成 29 年度末の持寄り基金残高はいくらか。また、基金充当事業に関して基準はあるのか。

(事務局) 平成 29 年度末の基金残高は、およそ 2 億 2,000 万円。基金充当の基準は、武石地域住民の利益、福祉向上につながる、武石地域の公益的な事業となっている。

(委員) 昨年整備したエリアトークにも基金が使われているのか。

(事務局) エリアトーク整備に 3,480 万円使っている。

(会長) 基金の使い方については、地域協議会で決めるものではないが、協議会から市に対して、事業の提案はできると考えている。

本日、説明いただいた「上田市空家等対策計画（素案）」と「上田市立地適正化計画（案）」について、各自で研究していただき、次回協議会で協議を行いたいと思う。

(4) その他

・今期協議会の進め方について

(会長) 第 6 期からの引き継ぎ事項について、今期地域協議会での進め方だが、武石地域公園化構想については、なかなかイメージがしづらいので、方向性を定め、具体的施策を考えていきたい。指定管理施設の維持・運営管理については、近いうちに市からの検討結果が示されるとのこと。地域としてどう維持していくのか、まとめていきたい。公共交通機関のあり方については、立地適正化計画にも交通手段の問題が入っているが、デマンド交通含む交通機関の維持管理について協議を行いたい。松くい虫対策については、武石地域でも被害の多い地域で樹種転換を行っていく計画があり、武石地域として山林をどうしていくかを考える必要がある。以前は、部会を設けていたが、今期は部会を設けず、3 か月ほどかけて、一項目ずつ協議を行っていきたいと考えている。

4 次回会議の開催について

日時：6 月 20 日（水）午後 7 時～ 場所：武石地域自治センター2 階第 1 会議室

8 閉 会（大草副会長）